



高専生が競う

第4回

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2023

ご協賛のお願い ver.1

2023

2023年3月吉日
インフラテックコン実行委員会

インフラテクコン2022交流会



謹啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

いつもインフラマネジメントテクノロジーコンテストを応援いただきありがとうございます。
おかげさまで「第3回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2022」（インフラテクコン）を
成功裏に開催することができました。

お力添えいただいた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

2023年度もインフラテクコンを開催いたします。

貴社・団体のCSR活動の一環として、また、新たな技術・サービスの発掘・育成、
リクルートにもつながると考えております。

インフラテクコンは、インフラマネジメントの魅力を拡げ、伝え、
産業としての確立を目指しています。

活動趣旨をご理解いただき、ぜひご協賛賜れますようお願い申し上げます。

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会

- ▶ まちづくりの目標と手段の変化
これまでの日本には、発展という全国共通の目標が存在しました。そして、インフラを含め、発展を実現するための全国共通の手段が存在しました。
しかし、成熟期を越えた今、課題やニーズは地域ごとに多様化し、まちづくりの目標や手段は全国共通のものではなくなりました。
- ▶ インフラの役割の変化
インフラはこれまで全国共通のまちづくりの手段の1つでしたが、今後は地域ごとに求められる新たな価値やサービスを創造・提供するとともに、地域共創・協働を推進するハブ的な役割も期待されます。
- ▶ 高専とインフラ
そして、それらを実現するプレイヤーとして、また地域関係者間のコミュニケーターとして、地域に根差した高等専門学校と、地元と技術に深い愛情を持つ高専生がキーパーソンになると考えています。
- ▶ インフラテクコンの意義
「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」は、こうした社会情勢の変化やニーズ、課題に対応できる人材育成を目指し、高専生が地域課題に気づき、インフラの新たな役割を考え、その過程で企業や地域行政とつながる機会を提供しています。

インフラテックコン概要（1）



イベント名	第4回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2023
スローガン	まちを守る。未来を創る。
キャッチコピー	繁栄か、廃退か 街の未来は君たちの「技術」と「アイデア」に託された 高専生 挑戦せよ！
テーマ	自由 ※テーマ例として広報・合意形成・住民参加・省力化/合理化技術・代替サービス・仕組み等
対象インフラ	公共インフラ（ネットワーク系、ハコモノ系）すべて ※鉄道、橋梁、道路、電気、ガス、上下水道、通信、庁舎、学校、文化施設、空港、港湾、清掃工場など
コンセプト	学びを活かして社会課題を解決するワクワク感を体験する
狙い・目的	<ul style="list-style-type: none">・学校だけでは身につけにくい「課題発見力」を養う・学校だけでは学びにくい「地域・まち」と「インフラ」の関係性を知る・インフラマネジメントへの当事者意識を醸成する・インフラマネジメントを担うさまざまな企業を知る

インフラテクコン概要（2）



ターゲット	全国57校の高等専門学校生		
開催方法	オンラインコンテスト		
スケジュール	5月 16日～ 6月16日 エントリー 7月 1日～10月10日 作品受付 10月20日～12月21日 審査	12月22日 2024年2月下旬	結果発表 交流会（予定）
	<p>※参加しやすくするため、これまで2回行っていた審査を1回のみとしました</p> <p>※高専生がインフラと向き合う時間を多く持つため、すべてのエントリーチームに最終作品を提出してもらうことにしました</p>		
表彰	<p>◆グランプリ、準グランプリ、地域賞、+α（最終審査通過作品対象。審査委員会による審査）</p> <p>◆わくわく賞（仮）（一般の人からの投票）</p> <p>◆プラチナ賞（プラチナ協賛団体による選定）</p>		
運営等 2022年度実績	<p><主催> インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会 (NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム公認事業)</p> <p><共催> NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 一般財団法人人生100年社会デザイン財団</p> <p><後援> 国土交通省、文部科学省、独立行政法人国立高等専門学校機構、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本技術士会、公益社団法人日本下水道協会、一般社団法人建設コンサルタンツ協会、一般社団法人持続可能な社会のための日本下水道産業連合会、一般社団法人日本橋梁建設協会、一般社団法人日本建築学会、日本経済新聞社</p> <p><協力> インフラメンテナンス国民会議、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、Doboku Lab.</p> <p><協賛> 報告書をご参照ください</p>		

協賛メニュー



	プラチナパートナー	ゴールドパートナー	わくわく応援隊 (個人のみ)
スポンサー料金	1口 250,000円	1口 50,000円	1口 500円
企業課題の設定	○	—	—
プラチナ賞の授与	○	—	—
高専先輩からのメッセージを HPへ掲載	○	—	—
応援メッセージをHPへ掲載	○	—	—
日経産業新聞 「高専に任せろ」特集への 掲載	ロゴ+社名掲載 (協賛口数による)	社名のみ	—
サイトへの掲載	スポンサー一覧 ロゴ掲載 (大)	スポンサー一覧 ロゴ掲載 (小)	氏名掲載 (希望者のみ)
わくわく賞 (仮) への 投票権	10票	3票	1票
作品集進呈	○	○	(PDF)

協賛メニュー 掲載例 (1)



日経産業新聞「高専に任せろ」企画ページ掲載イメージ

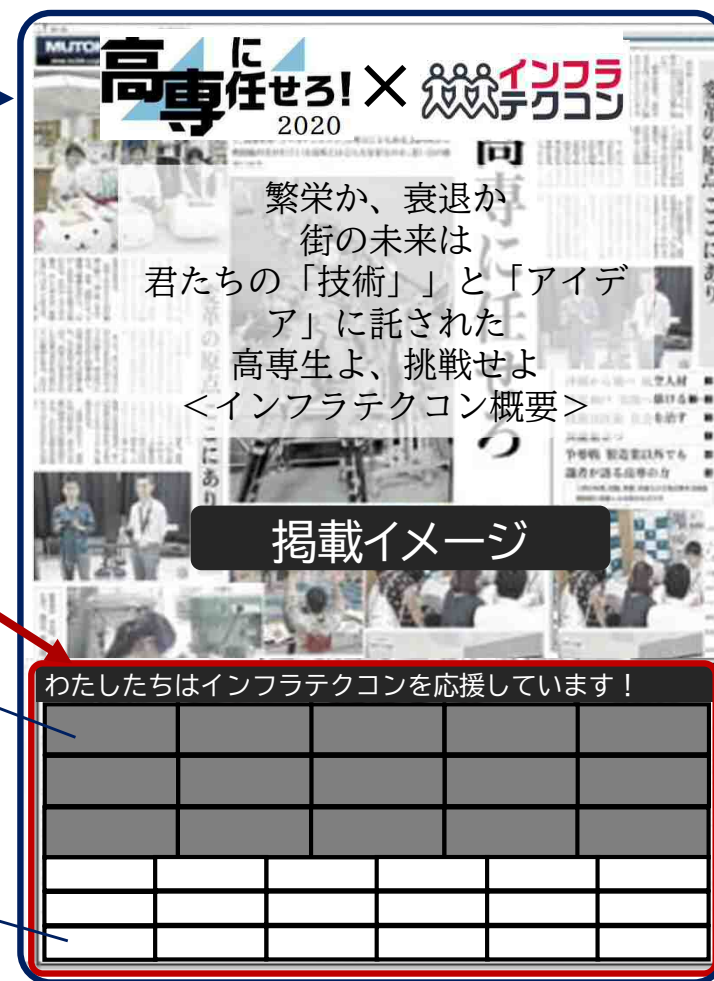
・インフラテクコン企画ページ
全面

・パートナー企業紹介スペース
全5段 (天地168×左右379mm)

プラチナパートナー
ロゴ+社名
天地33.5×左右76mm

ゴールドパートナー
社名
天地22.5×左右63mm

※スペースはパートナー数により
変更となる可能性があります



※2023年11月下旬発行予定、発行部数10万部

協賛メニュー 掲載例 (2)



トップ画面

<https://www.infratechcon.com/>



応援メッセージを右から左に流します
※プラチナパートナーのみ

各社様のロゴに企業HPのリンクを
つけて掲載します

インフラテクコンにご協賛いただくことで、御社にとりましても下記のようなメリットがもたらされるものと考えております。

■社会への貢献

- ・若手技術者の育成/高専との共同研究のきっかけづくり
- ・インフラを通じた地域協働のきっかけ、拠点づくり
- ・インフラメンテナンスにかかわる大規模工事に対する市民理解の促進、必要性の認知
- ・「インフラマネジメント産業」の確立と新市場の開拓
- ・新技術、アイデアの発掘、実装
- ・高専の教育ネットワークを活用したインフラマネジメント産業の海外展開
- ・毎年開催するイベントによる、継続した社会貢献

■リクルート側面

- ・問題解決力の高い優秀な高専生へのアプローチ
- ・多様な学科の高専（特に専門の先生）、高専生とのネットワーク構築
- ・withコロナにおける新たな採用活動の一環としての活用

お問い合わせ・お申込先



■協賛申込締切

第1次締切: **2023年5月10日**

※プラチナパートナーで企業課題を設定される場合。もちろん企業課題がなくても結構です

第2次締切 : **2023年6月30日**

インフラテクコン実行委員会事務局

アイセイ株式会社 内

FM推進室

岩佐、岡野

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里2-40-3

Tel: 03-6806-7281

メール: info@infratechcon.com